

## 「評価指標検証ワーキンググループ」の設置について

### 1 主旨

子ども・子育て支援事業計画の中間の見直しに向けたニーズ調査を行うにあたり、ニーズ調査では把握しきれない“生の声”を拾い上げるとともに、事業計画に掲げた「5年後の将来像」に係る評価指標の達成状況を検証する。

検証にあたっては、本ワーキンググループ委員が、その実施方法等について検討を行い、区民にインタビュー形式でヒアリング調査を実施する。また、検証結果を報告書にまとめ、事業計画中間の見直しの際のデータとして活用することとする。

### 2 委員名簿

別紙のとおり

### 3 検証方法等（案）

対象	幼児・小学生	中学生・高校生・大学生	乳幼児や小学生を持つ保護者
方法	原則として5～10名のグループヒアリング形式とする。（事前に調査票を配布し、それを基にヒアリングを進めていく。） 幼児・小学生は保護者同伴も可とする。 インタビュアーは原則としてコンサルタント業者が担い、希望があれば本ワーキンググループ委員も可とする。		
場所	保育園、幼稚園、児童館（学童クラブ）等	要検討	子育てひろば、子どもサロン等
時期	原則としてニーズ調査の実施期間中（平成28年6月～7月予定）に合わせて行う。		
主なヒアリング内容（例）	保育園・幼稚園・小学校は楽しいか お父さん・お母さんのことが好きか 好きな遊びは何か 将来の夢は何か	墨田区に住み続けたいか 墨田区をよりよくするためにどのような取組が必要と思うか 将来、子どもを欲しいと思うか 将来の夢は何か	子育ては楽しいか 不安や孤立感はあるか 父親は子育てに積極的か（父と母の両者から聞き取る） 父親は育児休暇を取得したか（日数も）

質問への回答に対し、可能な限りその理由も聞くこととする。

### 4 主な検討課題

#### （1）対象者

- ・事前に対象者を選定し協力を依頼しておくのか、選定せず調査当日、不特定の方にヒアリングを行うのか検討する必要がある。

( 2 ) 実施場所

- ・( 1 )に関し、調査当日、不特定の方にヒアリングを行うのであれば、ある程度のサンプルがとれるよう利用者の多い施設で実施する必要がある。

( 3 ) 実施体制

- ・本ワーキンググループ委員の多くは平日の日中、仕事をしているため、効率的・効果的にヒアリングを実施できるような方策を検討する必要がある。

( 4 ) ヒアリング内容等

- ・調査対象者（特に幼児・小学生）が集中力を維持できるよう、質問内容や質問数等を吟味する必要がある。

5 今後の予定（案）

月	内 容
2月～4月	・毎月1回程度ワーキンググループを開催 ・上記4の課題等について検討し、その結果を随時、子ども・子育て会議に報告
5月	委員同士による模擬ヒアリングを実施
6月～7月	ヒアリング調査を実施（回数未定）
8月～10月	適宜、ワーキンググループを開催 調査結果の検証及び結果報告書の作成
11月	報告書完成

ワーキンググループにはコンサルタント業者も出席（ヒアリング調査当日はインタビュアーとして参加）し、議事録及び調査後の報告書を作成することとする。